

(1) 地域公共交通の基本的な概要

- ・鉄軌道・駅はなく、バスが主たる公共交通の手段である。
- ・とよやまタウンバス（北ルート：町内～小牧市、南ルート：町内～名古屋栄）、名鉄バス西春・空港線、名古屋空港直行バス（名古屋駅～県営名古屋空港、幸田～勝川）の3種類、4つのバス路線が連携して、地域の公共交通を支えている。
- ・平成22年度に地域公共交通総合連携計画を策定した。
- ・平成24年5月31日に名古屋市長に対し、市バスを県営名古屋空港まで延伸することを要望した。

(2) 平成24年度前半の公共交通の概況

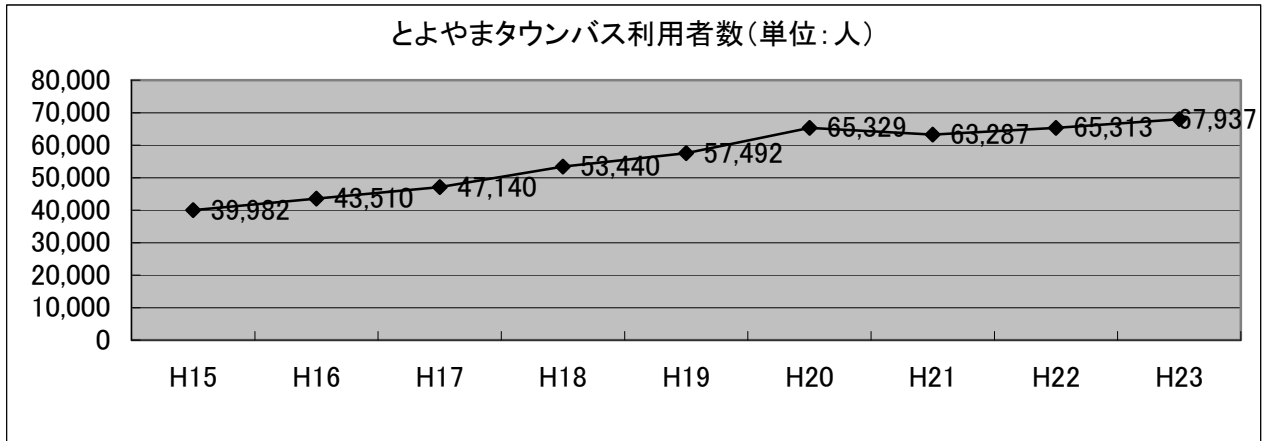
- ・とよやまタウンバス、名古屋空港直行バス、名鉄バスともに、利用者は増加する傾向にある。
- ・特に、とよやまタウンバスの増加傾向は顕著である。

<平成24年度前半の主な変更・改善点>

変更・改善日：4月1日（日）

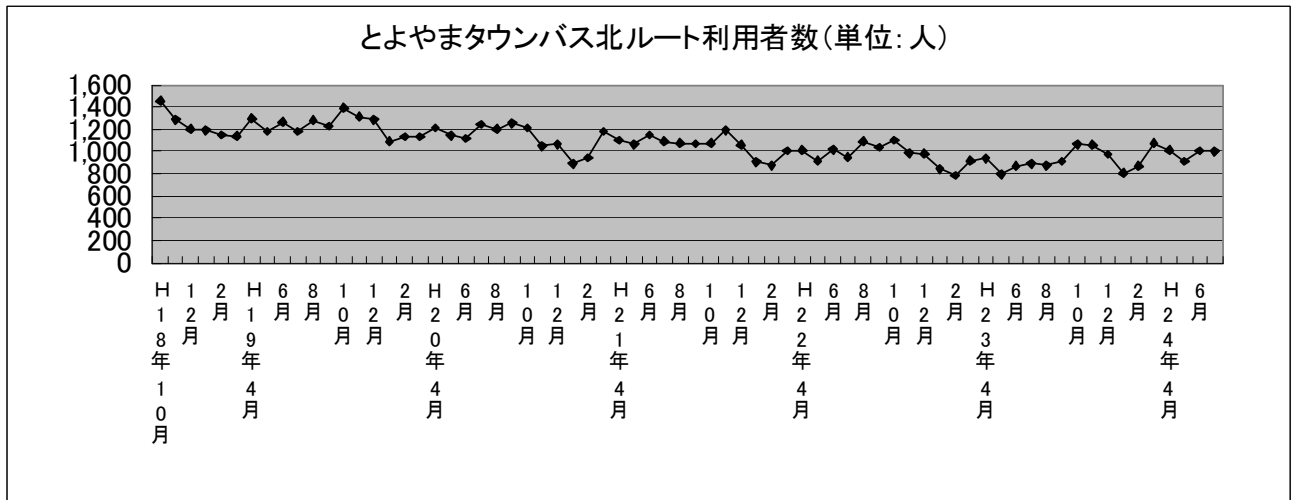
対 象	変更・特記事項	備 考
とよやまタウンバス (南北両ルート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道名古屋豊山稲沢線の新ルート供用開始に伴い、県道を走行する路線にした。</li> <li>・「豊山町商工会」を県道新ルートに移動させた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線幅が広くなり、よりスムーズに運行が可能となった。</li> </ul>
とよやまタウンバス (南ルート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「青塚古墳前」～「愛知県庁前」・「名古屋栄」の料金を100円値下げし、300円とした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「青塚古墳前」の利用者数が前年比約80%増えた。</li> </ul>
名古屋空港直行バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊山町商工会」にバス停を新設した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内における名古屋空港直行バスの幸田・勝川線のバス停が増加した。</li> </ul>
公共交通マップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のとよやまタウンバス、あおい交通直行バスの変更にあわせて、改定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成後、公共施設や乗車券取扱所等に配布・設置した。</li> <li>・町ホームページもあわせて更新した。</li> </ul>

(3) とよやまタウンバスの現況



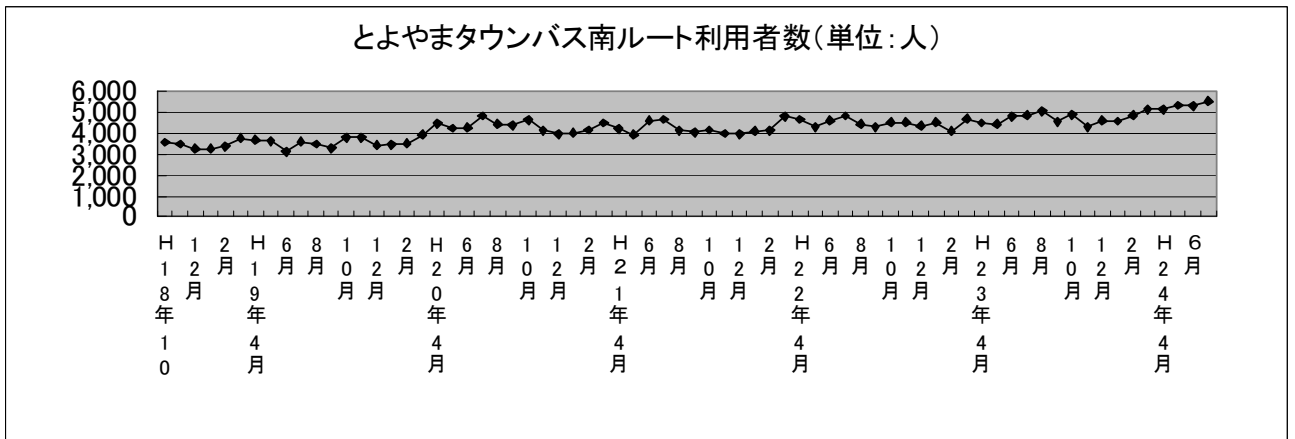
・平成24年の4月から7月において、前年度比、約15%増加している。

\*北ルート



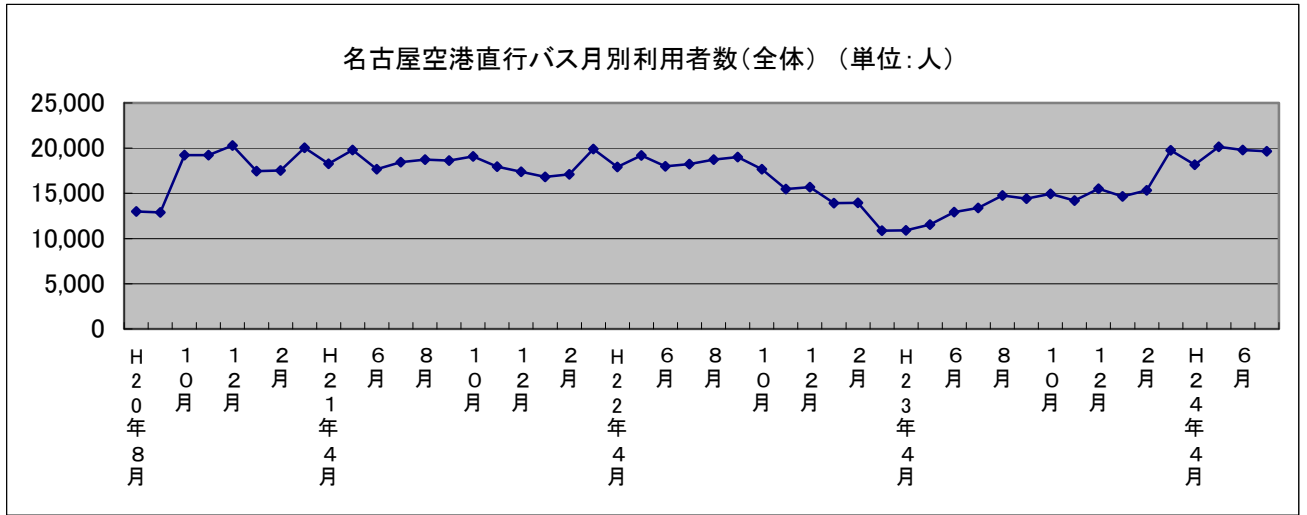
・800人から900人のレンジの間で推移しており、大きな変化はない。

\*南ルート

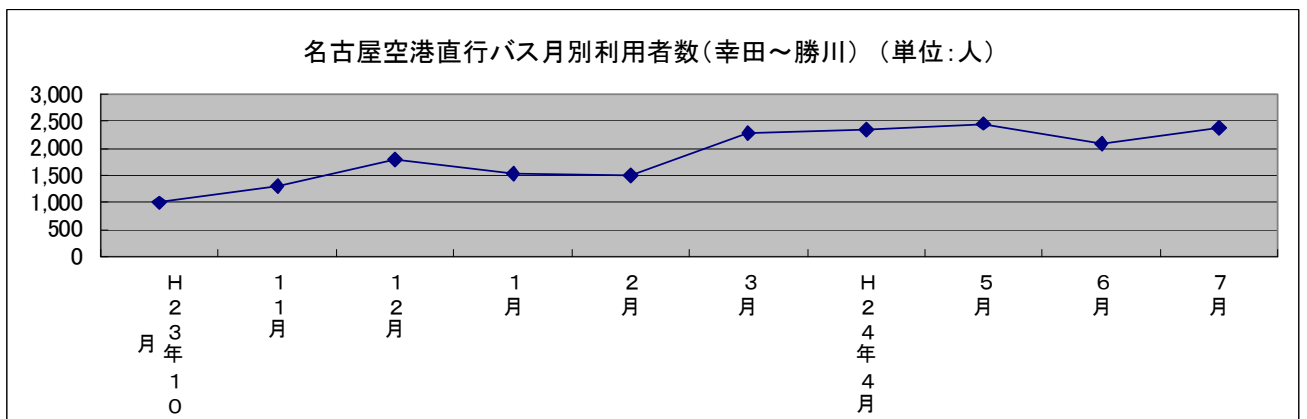
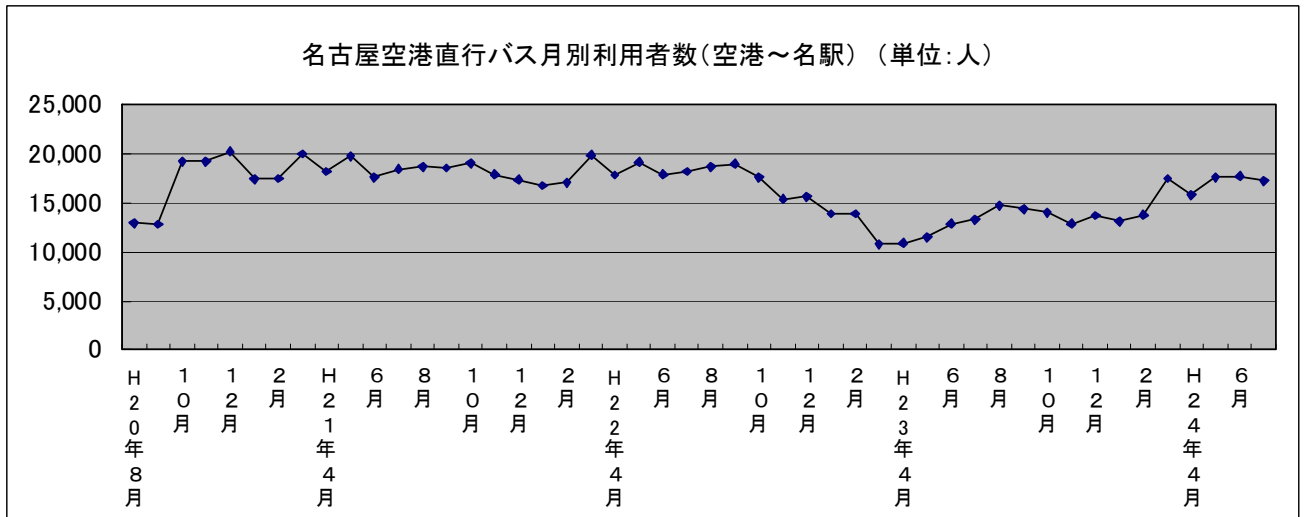


- ・昨年度に比べて大きく増加し、月間利用者の平均が5,000人を超えている。
- ・バス停別では移設した「豊山町商工会」と、今年度4月から名古屋栄方面の運賃を100円値下げした、「青塚古墳前」の利用者の増加が目立つ。
- ・便別では、名古屋市方面から、豊山町に来るための便の利用者の増加が目立つ。

(4) 名古屋空港直行バスの現況

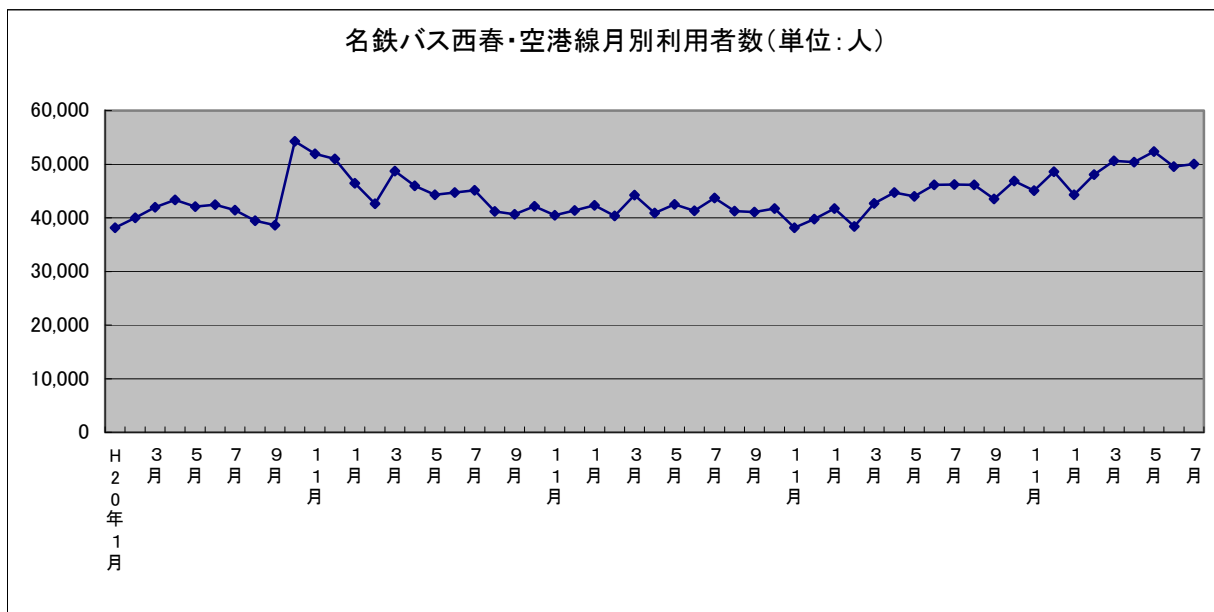


・(株)フジドリームエアラインズの搭乗者数の増加に伴い、利用者も増加している。



・両路線ともに、増加の傾向があったが、今年度に入ってからには空港～名駅の路線は18,000人程で、幸田～勝川の路線は2,500人程で推移している。

(5) 名鉄バス 西春・空港線の現況



- ・昨年度に引き続き、「北部市場北」、「伊勢山西」、「西豊場」、「豊山町社会教育センター」などの利用者は増加傾向にある。
- ・町外では、北名古屋市の「西春」、「高田寺北」、「砂場」の利用者が微増の傾向にある。
- ・「名古屋空港」バス停の利用者は増加していない。